

レスコヴィッチコレクション

広重・北斎とめぐるNIPPON

2019年 8月27日(火)～10月20日(日)

前期:8月27日(火)～9月23日(月・祝) 後期:9月25日(水)～10月20日(日)

近年、欧米のコレクターによる里帰り展で、海を渡った名品と再会する機会が増えてきました。特に、19世紀の欧米で美術工芸の世界に多大な影響を与えた浮世絵には海外の愛好家も多く、それぞれの特徴あるコレクションは私たちの眼を楽しませてくれます。

今夏、細見美術館に、パリ在住のポーランド人コレクター、ジョルジュ・レスコヴィッチ氏の浮世絵コレクションが登場します。レスコヴィッチ氏は他の外国人浮世絵コレクター同様、日本でも人気の高い春信、歌麿、写楽、広重、北斎といったビッグネームを含む浮世絵作品を所蔵されています。その中で最も注目すべき作品は、英泉と広重が分担して江戸と京をむすぶ中山道(木曾街道)を主題とした「木曾街道六拾九次」(広重は「木曾海道六十九次之内」)です。本作はシリーズ全ての図が揃っているばかりでなく、全てが初摺という貴重な作品でもあります。

本展は、この「木曾街道」を中心に広重の「六十余州名所図会」、「京都名所」、さらには北斎の「富嶽三十六景」、「諸国名橋奇覧」、「琉球八景」など、昔も今も変わらぬ人気のスポットへ、みなさんをいざないます。美術館にいな

展覧会名	「レスコヴィッチコレクション 広重・北斎とめぐるNIPPON」
入館料	一般 1,500 円 (1,400 円) 学生 1,000 円 (900 円) 中学生・小学生は無料 ※() 内は 20 名以上の団体
開館時間	午前 10 時～午後 6 時 (入館は午後 5 時 30 分まで)
休館日	毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
主催	細見美術館 京都新聞
特別協力	ジョルジュ・レスコヴィッチ氏
会場	細見美術館 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町 6-3 TEL 075-752-5555 FAX 075-752-5955 http://www.emuseum.or.jp



「木曾海道六拾九次之内 上ヶ松」 歌川広重 後期展示